

返戻・査定を防ぐ

指導に備える

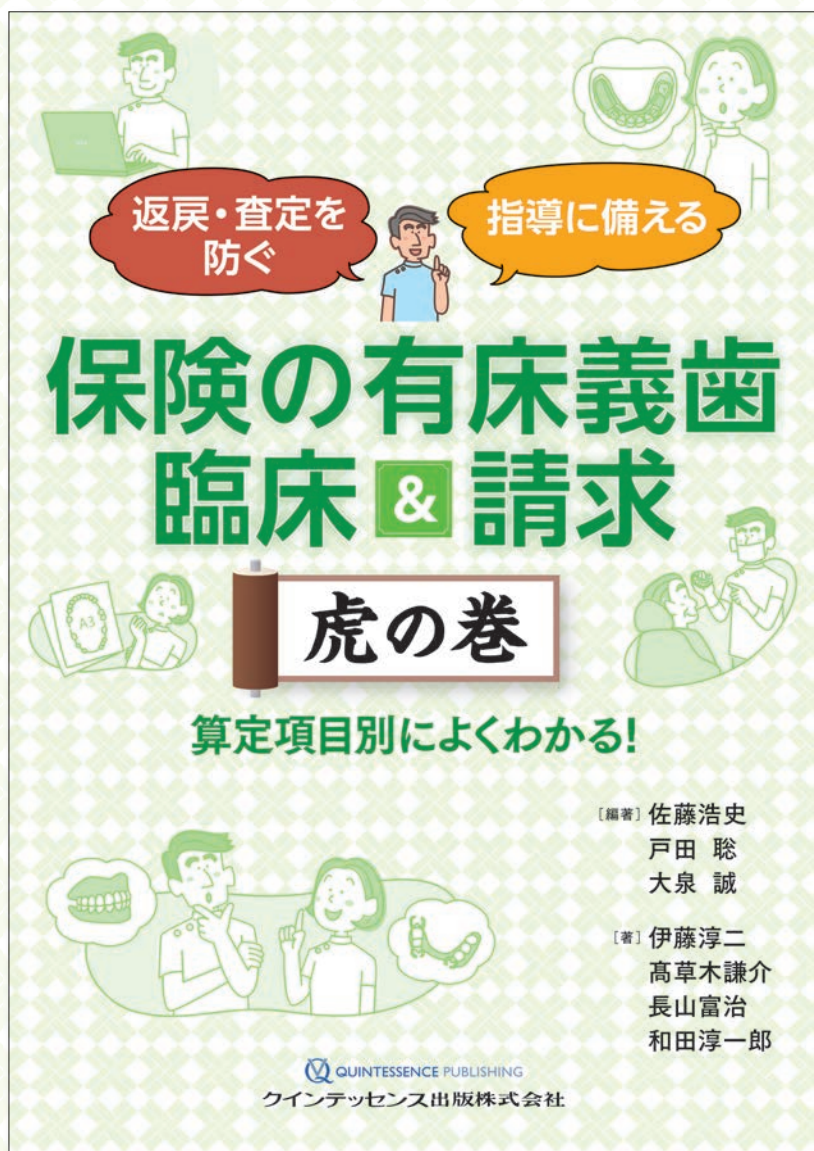
保険の有床義歯 臨床 & 請求 虎の巻

算定項目別によくわかる!

[編著] 佐藤浩史/戸田 聡/大泉 誠

[著] 伊藤淳二/高草木謙介/長山富治/和田淳一郎

— 保険義歯の臨床指針と請求ルールが この1冊でわかる! —



保険の有床義歯について、返戻・査定となった事例や個別指導等の際の指摘事項などを手がかりに、算定項目別に“臨床で必要なこと”“請求で気をつけること”を網羅。困ったときにすぐに使える実用ガイド。

目次

- 第1章 保険の有床義歯の基礎知識
 - 其の一 保険の局部義歯の基礎知識 の巻
 - 其の二 保険の総義歯の基礎知識 の巻
- 第2章 算定項目別 押さえておきたい臨床&請求のポイント
 - 其の一 補綴時診断料 の巻
 - 其の二 印象採得 の巻
 - 其の三 咬合採得 の巻
 - 其の四 顎運動関連検査 の巻
 - 其の五 有床義歯咀嚼機能検査 の巻
 - 其の六 鉤(クラスプ)の巻
 - 其の七 バーの巻
 - 其の八 隙の巻
 - 其の九 有床義歯(局部義歯・総義歯)の装着の巻
 - 其の十 歯周治療用装置(床義歯形態のもの)の巻
 - 其の十一 即時義歯の巻
 - 其の十二 新製有床義歯管理料&歯科口腔リハビリテーション料1の巻
 - 其の十三 有床義歯修理の巻
 - 其の十四 有床義歯床下粘膜調整処置の巻
 - 其の十五 有床義歯内面適合法の巻
 - 其の十六 磁性アタッチメントの巻

[編著] 佐藤浩史
戸田 聡
大泉 誠

[著] 伊藤淳二
高草木謙介
長山富治
和田淳一郎

QUINTESSENCE PUBLISHING

クインテッセンス出版株式会社



若手からベテランまで 役立つ必携書！

こんな歯科医師にオススメ

- ・義歯の臨床や請求で迷ったり困った経験がある
- ・返戻や査定に対応に苦慮したことがある
- ・日頃から個別指導に備えておきたい

「臨床上の知識と押さえておくべきポイント」では、その算定項目において“実際の診療でどんな処置などが必要か”写真や図をまじえて、ビジュアルにわかりやすく紹介。やるべきことがよくわかる！

有床義歯(局部義歯・総義歯)の装着の巻

臨床上の知識と押さえておくべきポイント

- 1 義歯装着に際し必要なこと**
印象採得から義歯完成までの過程で、義歯粘膜炎や鉤(以下、クラスプ)等の適合や咬合に程度のエラーが生じるのが一般的であり、義歯装着に際しては相応の調整が必要となる。そこで、完成義歯を患者の口腔内に装着し、機能させるために必要な調整の手順と、ステップごとの確認事項について解説する。
- 2 局部義歯装着時のチェックポイント**
 - 1 完成義歯の試過と大きな調整**
視診で明らかになった脱線や突起、環境のアンダーカット部分まで挿入された義歯床は、そのまま装着すると粘膜炎の原因となるため事前に削合する。つぎに、患者の口腔内に局部義歯を挿入し、定位位置に収まるか確認する。クラスプやレストと支台歯が良好に適合するまで、必要に応じて義歯の内面やクラスプを調整する。この段階での義歯内面と顎堤または支台歯の干渉部位の確認には、クリームタイプの適合試験材(表9-1)を用いるのがよい。
完成前に口内義歯を試過し、適合を確認したにもかかわらず、完成義歯を定位位置に挿入できない場合、原因は次頁に挙げるようなものが考えられる。

表9-1 適合試験材の比較。

	シリコンタイプ	クリームタイプ
利点	適圧部の検査が可能 粘膜と義歯床の間の厚みを測定可能	硬部部位の検査が可能 短時間で繰り返し検査可能 比較的安価
欠点	一度の検査に時間がかかる 比較的高価	粘膜と義歯床の間の厚みを測定不可
義歯装着時の主な用途	咬合調整終了後の適合の確認	顎堤または支台歯との干渉の確認

表九の九 有床義歯(局部義歯・総義歯)の装着の巻

義歯床の不適合

床用レジンがアンダーカット領域の一部まで挿入されている可能性がある。調整の対象となりやすい部位は(1)~(4)のとおり。

- (1) 支台歯のアンダーカット
図の矢印部分が干渉しているためレストが定位位置まで収まらない。調整が必要である。とくに歯肉退缩している症例などでアンダーカットが大きい場合も多く、注意が必要である(図9-1)。



図9-1 支台歯のアンダーカット。

- (2) 残存歯舌側のアンダーカット
リンガルプレート(黄色)部や臼歯部の舌側(黄色)部分はアンダーカットになりやすく、干渉しやすい(図9-2)。

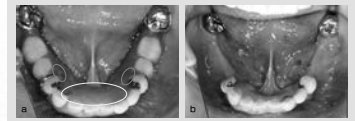


図9-2a, b 残存歯舌側のアンダーカット。

- (3) 欠損部領域の唇側(とくに上前歯歯部)
図9-3a内側で歯肉が隆起した部分はアンダーカットになりやすく、着脱方向が規定されている局部義歯では義歯床と粘膜炎が干渉しやすい。床縁が適切な位置に設定されているか確認が必要である。



図9-3a, b 欠損部領域の唇側面。

請求上の知識と気をつけるべきポイント

1 直接法と間接法で算定が異なることに注意する

① 直接法の場合の算定

▶ 当日にすべての項目を算定する。

② 間接法の場合の算定

▶ 当日は「印象採得」「咬合採得」を算定する。鉤(クラスプ)を除去した場合は、鉤除去も算定する。後日、修理に関する項目の算定を行う。修理時の算定項目等については 図 13-7、13-8 も参照のこと。

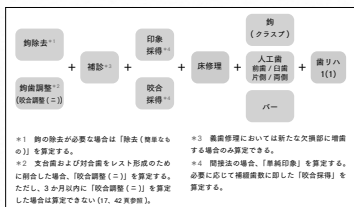


図 13-7 義歯修理時の算定項目。

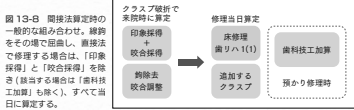


図 13-8 間接法算定時の一般的な組み合わせ。床縁をその場で直曲し、直接法で修理する場合は、「印象採得」と「咬合採得」を抜き(該当する場合は「歯科技工加工」も除く)、すべて当日に算定する。

② 床修理①を算定する際は修理内容の要点をカルテに記載する

義歯の修理を行い、「有床義歯修理(床修理)」を算定する場合は、修理内容の要点をカルテに記載する必要があります。

③ 修理で鉤(クラスプ)を除去した場合は「除去(簡単なもの)」が算定可

義歯修理に際して、鉤(クラスプ)を除去した場合は、「除去(簡単なもの)」の算定ができる。

④ 義歯修理における鉤歯調整は「咬合調整」を算定できる

義歯修理に際して、レスト製作を行った場合、「咬合調整(咬面) ニ レスト製作の場合」の算定ができる。ただし、3か月以内に「咬合調整 ニ レスト製作の場合」を算定した場合は算定できない。算定後、3か月経過後の場合は、再度算定可。

⑤ 欠損部位に対する増歯修理の場合は「補診」が算定できる

欠損部位に対する増歯修理の場合は、「補綴時診断科(補診)」の算定ができる(30頁参照)。人工歯が脱落し新たな人工歯を用いて修理した場合、「補診」の算定はできないので、注意が必要である。

⑥ 修理の印象採得は「単純印象(簡単なもの)」で算定する

義歯修理の印象採得は、欠損補綴の「単純

⑦ 必要があれば

義歯修理に際して、に
に従い算定する
同様に算定できる。

「請求上の知識と気をつけるべきポイント」では、上記の臨床的な裏づけをふまえて、項目別に算定の根拠や注意点などをピンポイントでやさしく解説。請求への理解を深め、ミスを防ぐ実践力が身につく！

臨床と制度の両面から適切な
保険請求につながる情報を提供 !!

きりとり線

注文書

返戻・査定を防ぐ 指導に備える
保険の有床義歯 臨床&請求 虎の巻 算定項目別によくわかる！
モリタ商品コード:208040916

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。